

公表日

R8年

3月

26日

事業所名

こぼんはうすさくら 本城教室

保護者等数(児童数) 10名

回収数 10件(割合100%)

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	9	1				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9			1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9			1	まだ日が浅いためわからない	事業所内での勉強会やミーティングを行い特性理解や専門的なアプローチが行えるよう取り組んでいます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9			1		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	4	1	1	4		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8	2				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	2	1	5		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	9	1				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7	1		2		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	2	2	4		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8			2		

保護者への説明等	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8			2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	1		1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9			1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8	1		1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9	1				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	10					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	9	1				
	29	事業所の支援に満足していますか。	10					

公表日

R8年 3月 26日

事業所名

こぼんはうすくら 本城教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	0	教室には無駄なものを置かないよう配慮し、十分なスペースの確保に努めています。	物が片付けられていないことがあるため、職員一人一人が片付けの意識をもつよう努めていく。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	2	基準人員より多く人員を配置するよう努めています。	急な欠動が出た場合の代替人員の確保が不安定なため見直していく。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	2	事故がおきないよう物の配置や動線など配慮しています。階段には手すりをつけるなどして可能な限り障害特性に合わせたりしています。	様々な障害特性に応じて、定期的に環境の見直しと改善を行っていく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	0	毎日掃除を行い、清潔な空間を心がけている。子供たちが活動しやすい環境を意識して配置しています。	掃除が行き届いていない掃除を定期的に行う必要や活動にあわせた環境の話し合いなどを行っていくよう努める。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	5	パーテーションなどを使い空間を区切って使えるよう工夫している。	個別の部屋が離れており、常時使えるわけではないため対応を検討していく。
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10	0	朝礼と終礼、また別途会議を定期的に行い職員が目標に対する振り返りを行うつつ業務改善できるよう取り組んでいる。	非常勤を含めた全職員への周知が不十分なため、体制や仕組みを検討していく。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	アンケートにて保護者様の意見を参考にし、職員間でのどのような対応をしたらいいのか考えていきたいと思っています。	職員会議の議題にも取り入れて行こうと思っています。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	毎日の朝礼・終礼で意見等を把握し、業務改善につなげられるようにしています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	10	第三者評価をおこなっていません。今後できるように検討していきたいです。	第三者評価をおこなっていません。今後できるように検討していきたいです。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	1	本部から研修動画をいただきその動画を職員に共有しています。また、ウェブでの研修を受けることもあります。	新入社員に向けての研修をもっと強化していけるよう事業者内で会議を行ったり本部と連携をとりたいと思います。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	0	支援プログラムの公表と合わせて、毎月のプログラムを前月末までに公表するようにしています。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10	0	初回および半年ごとに保護者へのアセスメントを行ない保護者のニーズとともに個別支援計画を作成しています。	アセスメント内容をふまえて事業者内で課題に対して意見を出し合う時間を増やしていくよう努める。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0	朝礼・終礼だけでなく職員と話す場を別途設け、共通理解の下検討を行っている。	事業者内で課題に対して意見を出し合う時間を増やしていくよう努める。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	0	常に共有して支援をおこなっています。	計画の認識が十分に共有できていない場合もあるため、把握できるように取り組んでいく。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	2	日々の状態を職員間で共有したり、記録をとったりして工夫している。	ツールを用いたアセスメントが不十分な面があるため今後ツールを検討し活用していく。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	2	具体的な支援内容が設定されるよう職員間で話し合いながら作成している。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	0	プログラムの立案の際はチームで話し合いながら立案している。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	0	プログラムの立案の際はチームで話し合いながら立案している。	プログラムの具体的な内容について話し合いが不十分な面があるためより話し合いを深めていく。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	1	児童の発達に応じて個別に活動をおこなったりしています。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	0	活動前に、職員間で動きの確認を行なっている。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	0	終礼を行ない、振り返りをしその日の児童の様子を職員で共有しています。	送迎に時間を要して行えない場合があるため、次の日の朝礼や文章として残すなど方法を検討していきます。

22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	0	日々の記録や連絡帳はパソコンでおこない送迎時の保護者様からの伝達事項などは終礼で報告しています。	記録内容が全職員共通して認識できるよう、記録方法や閲覧方法などを今後さらに工夫していく。
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0	半年に1度はもちろんですがこどもの状況に応じては、その都度話し合いをおこなっています。	
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	0	開催される場合は可能な限り児童発達支援管理責任者、管理者が参加します。他施設へ行き会議も行います。	指導員の参加が行えていないため、日程や体制などを工夫し指導員も参加できるよう努めます。

関係機関や保護者との連携	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	5	必要性がある児童のケースに応じて管理者を中心に対応している。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	4	送迎時に情報共有を行うようにしている。	共有する情報をすべての職員が共通で認識できていないため情報共有を職員間で十分に行っていくよう努める。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	0	連携を行ない、支援方法等を確認している。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				今後機会があれば今以上に積極的に参加して行こうと思います。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	10		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	10		中々、交流ができていないのが現状です。今後については、検討していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0	送迎時に子供たちの様子を伝えたりお電話での情報共有をおこなっています。必要に応じて面談なども行います。	送迎の関係上、保護者にあえないご家庭もあるため別途連絡方法を考え情報共有できるよう努めます。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	10		情報共有のみしか行えていないため今後研修の機会や家族支援プログラム等を検討していきます。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	1	利用開始時に書面を用いて説明させていただいています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	1	個別支援計画作成時には、子供や保護者と十分に話し合い、意向を確認しながら作成を行っています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10	0	利用開始時および定期面談では書面を用いてご説明をさせていただいています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	2	HUGの連絡帳機能や送迎時にお話しをし、悩みや相談に応じられるよう努めている。	送迎時お会いできない保護者は十分にフォローできていないことがあるため、こちらから連絡をとるなど工夫していく。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	10		開催できていないため、今後検討していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	2	HUGやスマートフォンを導入し、保護者からの相談・連絡をいつでも受けられるようにしている。	児童の対応中はHUGのメッセージを見落とすことがあるため定期的に見るなど工夫をする。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10	0	HUGの利用することで活動概要・行事・連絡など発信を行っています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	1	個人情報は鍵付きの書庫にて保管しています。写真撮影などは社用スマホを使っています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	1	言語のみの意思疎通ではなく絵カードやホワイトボード、図を用いるなどして情報伝達の配慮を行っています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	10		開催できていないため、今後検討していきます。
		45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	3	マニュアルの策定や発声を想定した訓練は毎月行っている。
46		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	0	BCPの策定を行うとともに定期的に研修や訓練を行っている。	
47		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	0	確認しその経緯なども確認を行っている。	

非常時等の対応	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	0	10	アレルギーの把握は事前に行っている。アレルギーがある場合はおやつや食事は持参していただくようになっている。	指示書に基づいての対応は行っていないため、今後検討していく。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	0	安全計画を作成し、必要に応じて措置を講じたり話し合いを行ったりしている。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	3		家族等の周知が不十分な面があるため、今後対応を検討する。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	5	朝礼や終礼などで情報共有し、再発防止策を話し合っている。	紙ベースでヒヤリハットの報告を行っていないため、今後検討する。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0	定期的な会議および研修会を行っています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	2	必要に応じて利用開始時に書面を用いてご説明をさせていただきます。	